

社会福祉法人福島更生義肢製作所 令和3年度事業報告書

法人本部

運営方針について

- 社会福祉法人として対象者に寄り添った法人運営に努め、法人職員に対しては福祉人材として社会に貢献できるよう、規範意識の醸成に努めました。
- コロナウイルスの感染拡大に関し、職員には新しい生活様式に対応できるよう促し、ワクチン接種、濃厚接触・ウイルス感染判明時には公休とし、職員の負担軽減に努めました。
- SDGS の理念に従い法人を運営しました。

地域貢献活動について

- 障がい者施設等を積極的に訪問し、補装具の無償修理・無償メンテナンスを多数実施しました。
- 補装具の無償貸し出しを数多く実施しました。
- 降雪時には公道の雪かきを全員で行いました。
- 障がい者団体の活動に対し協賛広告を行いました。
- NPO 法人が実施する廃品回収事業に協力しました。

購買事業について

- 車輛3台を入れ替えました。
- 足漕ぎ式ミシン1台を新規増設しました。
- コンターマシンのメンテナンスを実施しました。
- 出張所・会津製作所にパソコン1台を入れ替えました。
- 法人本部の照明をLED化しました。
- ドライブレコーダーを社有車全車両に搭載しました。
- 3Dプリンター1台を新規に購入しノウハウの蓄積に努めました。

歳入歳出について

- 事業活動収入は2億3895万8535円であり、予算案2億5572万6千円を達成することはできませんでした。
- 事業活動支出は2億3494万5961円となり、予算案2億4326万7千円を下回りました。
- 施設整備等による歳入歳出、その他の活動による歳入歳出を合わせた

当期資金収支差額合計は、マイナスする事の666万443円となり、残念ながらマイナス決算となりました。

研修事業について

一人一人が自発的に行動し、知的好奇心を旺盛に持つ、幅広の人材を育成するために、次の研修事業を実施しました。

日時：令和3年6月21日(月) 15:30~16:00

場所：福島更生義肢製作所1階工場 PC オンライン方式

演題：日本シグマックス製品 web 勉強会(DONJOY 製品とウルTRASリング)

主催者：濱舜介

出席者：南本、廣川

日時：令和3年8月21日(土) 10:30~11:30

場所：こしのはま会館

演題：機能改善ストレッチ

主催者：ルネサンス福島

出席者：市川、八巻、佐藤、宍戸、横田、南本、樋口、

日時：令和3年9月17日(金) 10:00~12:00

場所：福島更生義肢製作所

演題：ペルモビール講習会(車いす技術者講習会)

主催者：(株)ペルモビール

出席者：杉内、樋口

日時：令和3年10月15日(金) 10:00~11:00

場所：福島更生義肢製作所 オンライン方式

演題：ミキ車いすズーム勉強会

主催者：ミキ

出席者：今野、杉内、樋口

日時：令和3年11月10日(水) 9:00~16:30

場所：コラッセふくしま ふくしま商工会議所 8階 会議室

演題：若手社員向けセミナー

主催者：福島商工会議所 総合企画課

講師：採用と教育研究所所長 半田真仁 第二講師 山田雅彦
出席者：横田、南本

日時：令和3年9月30日(木) 18:00～
場所：福島更生義肢製作所2階 大会議室 オンライン方式
演題：3Dプリンターオンライン見学会
主催者：福島更生義肢製作所
講師：新潟医療福祉大学義肢装具自立支援学科 郷貴博
出席者：大橋、今野、市川、八巻、山田、太田、穴戸、横田、樋口、廣川

日時：令和3年10月8日(金)～11月15日(月) ライブ開催10月16日(土)～17日(日)
場所：福島更生義肢製作所 オンライン方式
演題：第37回日本義肢装具学会学術大会
主催者：第37回日本義肢装具学会学術大会運営事務局
参加費：正会員 事前登録10,000円

日時：令和3年10月11日(月)～12月10日(金)
場所：福島更生義肢製作所 オンライン方式
演題：国際福祉機器展 Web2021
主催者：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会

日時：令和3年10月29日(金) 10:00～
場所：福島更生義肢製作所
演題：オットーボック車いす勉強会
主催者：オットーボック
出席者：杉内、樋口、南本

日時：令和3年11月25日(木)～26日(金)
場所：一般社団法人日本福祉用具評価センター2階研究室
演題：車いす安全整備士養成講座
主催者：一般社団法人 日本福祉用具評価センター(車いす安全整備士養成講座運営事務局)
出席者：樋口

日時：令和 3 年 12 月 6 日(月) 13:30~15:25

場所：福島更生義肢製作所 オンライン方式

演題：SDGs と社会福祉法人

主催者：福島県社会福祉法人経営者協議会

定員：80 名

出席者：

日時：令和 4 年 2 月 1 日(火)~2 月 28 日(月)

場所：福島更生義肢製作所 オンライン方式

演題：2021 年度 公益社団法人 日本義肢装具士協会研修委員会 中部
日本支部セミナー

側わん装具 - テクニカルセミナー -

主催者：公益社団法人 日本義肢装具士協会研修委員会 中部日本支部

参加費：正会員・購読会員・義肢協会員 5,000 円

非会員 10,000 円

出席者：今野、市川、八巻、佐藤、宍戸、横田、廣川

日時：令和 4 年 2 月 19 日(土) 11:00~12:00

場所：福島更生義肢製作所 2 階 大会議室

演題：POS システム講習会

主催者：スターティアリード株式会社 福島支店 ソリューション営業
部 オフィスソリューション第一営業課

出席者：大多数

日時：令和 4 年 2 月 24 日(木) 17:00~17:30

場所：福島更生義肢製作所 2 階 大会議室

演題：シグマックス製品講習会

主催者：日本シグマックス株式会社

講師：日本シグマックス株式会社 東北営業所 大丸、濱

出席者：今野、市川、八巻、宍戸、横田、廣川

社会福祉充実残額について

令和 3 年度は発生しませんでした。

本所業務部

治療用装具関係

- コロナウイルス感染対策には十分意を配りました。その結果、小学校におけるクラスター発生の影響を受け、家族が濃厚接触となった者1名が感染したものの、業務途中における感染者はゼロでした。なお、1名が感染しましたが、休日を挟んでいたため、法人内部での対応は特に必要がありませんでした。
- 病院・クリニック等への業務につきましては、定期訪問を減らし、依頼があったときに訪問する、随時訪問を増やし職員の負担軽減に努めました。

更生用義肢装具関係

- 積極的に対象者様の自宅を訪問するなどきめ細やかな業務展開に努めました。
- 車いす担当者と、義肢装具担当者との連携を強化し、利用者様の生活環境向上に向けた提案を行うことができました。

車いす他福祉関係について

- 年間売り上げについては、病院、施設、在宅の対象者様すべてにおいて面会が難しく、新規製作や再交付、修理等の提案が困難な中、売り上げの確保は図れませんでした。
- 車椅子製作、販売の経験者を雇用できたことにより、活動範囲が広がり、認知度信頼度を上げることができました
- 補装具だけでなく、日常生活用具、介護用品など、取扱品目を増やすことができました。
- 地区社協と連携し車椅子の無償メンテナンス、修理を実施しました
- 一般道の利用を優先し、交通費、燃料費を削減できました。
- 外注していた一部商品の社内製作化を実現し、材料費の削減を図れました。

職員のスキルアップについて

- オンライン研修に対応するため、PC環境の整備を充実しました。
- メーカー主催や、業界団体主催の講習会のほとんどがオンライン会議で行われました。回数は前年度よりも多くなり、各自の日程調整により、参加できる会議、講習会には積極的に参加することができました。

本所製造部門

- コロナ感染対策を徹底しました。
- 足漕ぎ式ミシン一台を増設しました。
- 3Dプリンターを導入し知識の積み上げ、装具製作の研究を実施しました。
- ズームを積極的に活用し、補装具製作の知識を積み上げました。
- 会津出張所とも、ズームを活用し意見交換をきめ細かに行いました。
- オリジナル製品の研究開発を積極的行いました。

出張所・会津製作所

営業業務

- 会津地方全域において、自宅及び施設等を訪問する事により、福祉サービスの提供を迅速に行う事が出来ました。
- 福島県立医科大学会津医療センター、会津中央病院、竹田総合病院を中心に、いわき地方、白河地方への業務展開を実現出来ました。
- コロナ禍で外来診療や手術が中止になる医療機関がある中、営業業務職員、製作技術者の努力により、より良い製品を納めることが出来ました。
- 本所・福島製作所と情報を共有し、効率的な営業業務を行いました。
- 歳入は、コロナ禍の中、予算額とほぼ同等額の売上高を達成出来ました。

福祉的活動

- 近隣施設等において、車椅子の無償点検を行いました。
- 車椅子の利用者様にダイレクトメールを送るなどして、リピーター獲得に努力しました。

製作業務

- 部品・材料メーカーとのリモート勉強会で製作に必要な知識や技術を身につける事が出来ました。
- 材料の高騰がありましたが、吟味することにより、事業費支出の増加を最小限に抑える事が出来ました。
- 若手職員が中心になり3Dプリンターの運用化に近づきました。